

マイワシ 考

資源について える

～今後の資源動向を見越した有効利用の視点から～

第5回 南九州水産海洋研究集会

1. 資源と海洋環境

- (1) マイワシの生態及び資源変動
- (2) マイワシ資源変動と関係する海洋環境の近況と今後

日時：2017年9月5日(火)

13:00～17:00

場所：宮崎県庁附属棟201号会議室

宮崎市橘通東2丁目10番地1号

※入場無料

2. 各県の資源状況

- (1) 宮崎県の状況
- (2) 鹿児島県の状況

3. 資源の利用

- (1) まき網漁業者からみた近年のマイワシ資源
- (2) 加工の事例～加工業者による利用～
- (3) 流通の事例～養殖漁業による利用～
- (4) 高水準期のマイワシ有効利用
～まき網漁業・加工・流通の視点から～



4. 総合討論

共催：水産海洋学会 宮崎県水産試験場 鹿児島県水産技術開発センター 鹿児島大学水産学部

第5回南九州水産海洋研究集会

「マイワシ資源について考える ～今後の資源動向を見越した有効利用の視点から～」

共 催：一般社団法人水産海洋学会，宮崎県水産試験場，鹿児島県水産技術開発センター，
鹿児島大学水産学部

後 援：宮崎県漁業協同組合連合会

日 時：2017年9月5日（火）13：00～17：00

場 所：宮崎県庁附属棟 201号会議室（宮崎市橘通東2丁目10番1号）

コンビナー：渡慶次 力（宮崎水試），西口政治（宮崎県），宍道弘敏，天野裕平（鹿児島水技セ），
小針 統，中村啓彦（鹿大水）

挨拶：大関芳沖（一般社団法人水産海洋学会長） 13：00～13：05

田原 健（宮崎県水試場長） 13：05～13：10

宇戸田 定信（宮崎県漁連会長） 13：10～13：15

趣旨説明：渡慶次 力（宮崎水試） 13：15～13：20

話題提供

1. 基調講演：資源と海洋環境

座長：宍道弘敏（鹿児島水技セ）

（1）マイワシの生態および資源変動 渡邊良朗（東大大気海洋研） 13：20～13：50

（2）マイワシ資源変動と関係する海洋環境の近況と今後
西川 悠（JAMSTEC） 13：50～14：10

2. 話題提供1：各県の近年の資源状況

座長：西川 悠（JAMSTEC）

（1）宮崎県の状況 堀江ひかり（宮崎水試）・西口政治（宮崎県） 14：10～14：30

（2）鹿児島県の状況 天野裕平（鹿児島水技セ） 14：30～14：50
（休 憩） 14：50～15：05

3. 話題提供2：資源の利用

座長：渡慶次 力（宮崎水試）

（1）まき網漁業者からみた近年のマイワシ資源 西口良満（島浦町漁協） 15：05～15：25

（2）加工の事例～加工業者による利用～ 阿部卓磨（阿部水産） 15：25～15：45

（3）流通の事例～養殖漁業における利用～ 南 隆之（宮崎水試） 15：45～16：05

（4）高水準期のマイワシ有効利用～まき網漁業・加工・流通の視点から～
金子貴臣（水産機構中央水研） 16：05～16：30

4. 総合討論

座長：渡慶次 力（宮崎水試），西口政治（宮崎県），宍道弘敏，天野裕平（鹿児島水技セ），

小針 統，中村啓彦（鹿大水） 16：30～17：00

開催趣旨：マイワシは日本人に親しまれ，食用や養殖魚の餌として利用されるなど，南九州の漁業にとっても重要な水産資源の一つである．マイワシの資源水準は，1980年代に高く，2000年代に低かったものの，近年やや回復の兆しを見せている．マイワシ資源は，気候変動に対応して数十年規模の大変動を繰り返すことが知られている．本種のように海洋環境の影響を受けて大きく変動する多獲性資源を主な漁獲対象とする漁業においては，資源変動に臨機応変に対応した効率的な操業や経営戦略が求められる．しかしながら，1980年代のマイワシ高水準期の水産現場においては，資源変動に対する認識が低かったために，まき網漁業や陸上関連施設への過度の投資がその後の経営を圧迫する場合があった．本研究集会では，マイワシ資源の生態，資源状況，海洋環境に関する最新の研究成果と，水産関係者の肌感覚および経営戦略について，研究者・水産関係者間で情報共有・意見交換すると共に，今後想定される環境変動とそれに伴うマイワシ資源の変動及び水産業の対応について展望し，今後必要となる研究の方向性について議論する．